

海外安全対策情報（平成30年度第3四半期）

1 社会・治安情勢

パラナ州公安局発表によるクリチバ市の2017年の殺人件数は379件で、件数、殺人率共に依然として高い数値で推移している。2017年クリチバ大都市圏での殺人件数は900件、10万人あたりに換算すると27.4件、世界保健機構が許容範囲としている殺人件数（10万人あたり10件）の約3倍。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）クリチバ市及び大都市圏では近年、誘拐、ATM爆破強盗、携帯電話販売店や薬局店、レストラン及び住居を狙った武装強盗、運転中及び停車中を狙った車両強盗、武装集団による長距離バス及び路線バス内強盗が多発している。時間帯、場所を問わず銃器を使用した犯罪が増加しており、十分な注意が必要である。渡航情報（危険情報）については、パラナ州クリチバ大都市圏は「十分注意してください」を継続中。

（2）パラナ州西部に面する隣国との国境地帯（特にパラグアイ）からは頻繁に大麻等の麻薬類及び銃器類の密輸が行われており、軍警察による押収量は増加する一方である。2009年及び2010年のパラナ州における武器押収量は全伯一位である。近年、パラナ州は麻薬の搬入ルートのみならず麻薬消費地域となっており、麻薬絡みの犯罪も増加している。

3 犯罪事例（10月～12月）

（1）10月2日（火）早朝、クリチバ市セントロ地区にあるショッピングセンターエスタサオンの前で、25歳の男性が胸を打たれ殺害された。警察の調べでは、3発撃たれた内の1発が彼の胸に命中した。被害者男性の横にモデルガンが落ちていたことから、被害者男性が強盗しようとして逆に撃たれた可能性があるとみている。警察は防犯カメラの映像から捜査を進める予定。

（2）10月3日（水）夜、クリチバ市ビゴヒーリョ地区の大型ショッピングセンターに、武装した男3人が侵入し、客と従業員を脅し、30台の携帯電話と現金を奪い逃走した。携帯電話の中にGPS機能が付いた物があり、軍警察が逃走先の住所を確認したところ、クリチバ市カジュール地区にあることが分かった。軍警察がGPSの示した住所へ向かったところ、現場には犯人グループが逃走に使用した車両、盗まれた携帯電話と10台の少年がいたため逮捕した。

（3）10月5日（金）12時18分、クリチバ市カパオンハゾ地区にあるショッピングセンターポプラールの前に不審物があると軍警察に連絡があった。警察の調べによると、不審物は瓶型の爆弾の様な物で、爆発することは無かった。犯人は大統領選挙を

妨害する目的で設置した物と思われる。選挙期間中の警備体制を強化する旨発表した。

(4) 11月21日(水) 早朝、クリチバ大都市圏サンジョゼドスピニャイス市のアジルペドロソ通りで、19歳の少年が乗車していた車に別の若い男性3人が乗った車が近付き、突然発砲し19歳少年を射殺した。たまたま付近に非番の軍警察特殊部隊隊員がおり、事件の一部始終を見ていた。同隊員と犯人グループとで銃撃戦になったが、犯人グループは付近にあった車両を盗み逃走した。

(5) 12月26日(水) 夜、クリチバ市ピニエイリーニョ地区で、ウーバーの運転手をしていた34歳男性が拳銃で撃たれ殺害された。目撃者の証言によると、強盗犯が被害者男性に向け5発発砲し、その内1発が命中した。犯人は犯行後すぐに逃走したが、警察は監視カメラの映像を解析し捜査している。